

総合的な学習の時間

【探究的な見方・考え方】

各教科等における見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究し、自己の生き方を問い続けること。

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

総合 小学校

1 目標や学校、地域の実態に応じた探究課題の設定

- ・自校の総合的な学習の時間の目標や、学校、地域の実態に応じて、例えば、現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な課題、地域や学校の特色に応じた課題、児童の興味・関心に基づく課題などを踏まえて探究課題を設定します。
- ・国際理解や情報に関する学習を行う際には、探究的な学習が位置付くようにします。

2 探究的な学習過程における学習方法の工夫

- ・指導計画に「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の4つの学習過程を位置付けます。
- ・「課題の設定」では、児童が問題状況の中から課題を発見して設定し、解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てるようにします。
- ・「情報の収集」では、児童が手段を選択して必要な情報を収集し、分析するようにします。
- ・「整理・分析」では、児童が課題解決を目指して「考えるための技法」を活用し、事象を比較したり、関連付けたりして考えるようにします。
- ・「まとめ・表現」では、児童が相手や目的、意図に応じて分かりやすくまとめ、表現するようにします。

3 探究的な学習の質の向上

- ・情報を収集・整理・発信などの学習活動の際には、情報機器や情報通信ネットワークを目的や状況に応じて選択して活用します。
- ・児童のよさや可能性を引き出し、伸ばすよう、児童の望ましい変容の姿を明らかにし、体験活動等を位置付け指導します。

総合 中学校

1 目標や学校、地域の実態に応じた探究課題の設定

- ・自校の総合的な学習の時間の目標や、学校、地域の実態に応じて、例えば、現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な課題、地域や学校の特色に応じた課題、生徒の興味・関心に基づく課題などを踏まえて探究課題を設定します。
- ・職業や自己の将来に関する学習を行う際には、探究的な学習が位置付くようにします。

2 探究的な学習過程における学習方法の工夫

- ・指導計画に「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の4つの学習過程を位置付けます。
- ・「課題の設定」では、生徒が問題状況の中から適切に課題を設定し、仮説を立てて、検証方法を考え、計画を立案するようにします。
- ・「情報の収集」では、生徒が目的に応じて手段を選択して必要な情報を収集し、多角的に分析するようにします。
- ・「整理・分析」では、生徒が課題解決を目指して「考えるための技法」を活用し、事象を比較したり、因果関係を推測したりして考えるようにします。
- ・「まとめ・表現」では、生徒が相手や目的、意図に応じて論理的にまとめ、表現するようにします。

3 探究的な学習の質の向上

- ・情報を収集・整理・発信などの学習活動の際には、情報機器や情報通信ネットワークを目的や状況に応じて選択して活用します。
- ・教師の指導による部分と生徒の主体的な取組を重視する部分とのバランスを考慮し、それぞれを適切に位置付けます。

指導の一層の充実に向けて

- ・各教科等との関連的な指導を充実させるために、総合的な学習の時間における単元と各教科等との関連を見通した年間指導計画（単元配列表）を作成しましょう。
- ・総合的な学習の時間の探究課題を学校の教育目標との関連を図って設定し、教育目標の実現に生かしていくよう指導しましょう。
- ・地域の素材や地域の学習環境を生かした学習活動を充実させるために、日頃から外部人材と適切に関わりとともに、教育資源のリストを作成するなど、外部連携のシステムを構築しましょう。